



りりぽっぷ幼稚園 週刊園だより

幼稚園 048(794)3104

りりぽっぷ

2021年 7月15日

番外編 part2

HPアドレス
<http://wakuwaku-dokidoki.com>赤ちゃんの
いなし

命のもとはこんなにも小さい!!

例年3月に行われる年長児にむけての「赤ちゃんのはなし」を、半年以上前倒しで12日(月)に行いました。ここ最近、年長組の中で面白半分に行う困った行動に危機感を持ち、早いうちに助産師さんの力を借りたいと思ったからです。

さて、当日、「ほら、この紙を光にむけてすかしてごらん。何が見えるかな?」「小さな穴があいてる!!」と子どもたち。「この小さな穴の大きさがみんなの命の始まりなんだよ。」と助産師の平野さんが語りはじめます。お母さんのお腹の中で大事に育てられ、3ヶ月、5ヶ月、そして、お腹の中のあたたかいお湯の中で頭を下にして大きくなっていく様子も、助産師さん苦心のサンプルに触らせてもらい実感。実物そっくり(重さも)の赤ちゃんも抱っこさせてもらいました。

「みんなはね、たくさんの力を持って大きくなったんだよ。」と平野さん。また、体育着を身につけている時に隠れている部分、プライベートゾーンについても話がありました。男の子も女の子も、知らない人はもちろん、両親にも触らせてはいけない所があること、3歳になったら自分で洗おうといふことも話されました。

子どもたちを取り巻くネット社会はすさまじく、親の知らない間に色々な情報に触れることが可能になりました。といった現状の変化を私たち大人も自覚しながら、子どもたちを見守っていかなければならぬのがもれませんね。

また、子どもたちが退席後、参加した大人における話がありました。スカリ 性被害について現場で関わる助産師さんならではの話を伺うことができました。声を上げることができない被害者の苦しみは、生涯忘れてても忘れられない傷になってしまふ事実に、周囲の大人の責任の重さを感じました。詳細にお伝えしたいところですが、踏み込んだ内容だけに お伝えしきれないことをお許し下さい。

●性教育に早すぎた!はない

(5歳児保護者)

赤ちゃんのお話をありがとうございました。私はもう何回か参加させていただいているのですが、毎回ともに勉強になります。そして、基本の子どもたちに伝えて覚えてほしいことは変わらないのですが、プライベートゾーンが数年前と比べて広く男女差もなくなっていることに、「なるほど~♪」と思いました。(数年前は水着で隠れているところでした) もっと言ってしまえば、手だって足だって知らない人に触られたら嫌ですよね。性教育に「遅すぎた!」はあるかもしれません、早すぎた!」はないと感じました。「幼いから分からないよね。ごまかしても大丈夫だよね。」ではダメですね。幼いから、その子が理解できる言葉で、何回も繰り返し伝え続けていくことが大切なのです。

正しい知識があることが、後々我が子のためになるのだろうと思います。被害者にならないためにも、万が一にも加害者にならないためにも、親も正しい知識、新しい知識を得ていかなければ!と思いました。さっそく昨夜から3歳の子もプライベートゾーンは自分で洗うようにしました。(上の子はだいぶ前から自分で洗っていたので...) できることから少しづつその子に合わせて、日々アップデートですね!



●何度も何度もプライベートゾーンの大切さを

(5歳児保護者)

先日は赤ちゃんのお話を一緒に聞かせていただき、ありがとうございました。赤ちゃんについて息子から質問されることもあるようになり、その度にふんわり答えていました。性教育の大変な部分ですし、もう少しきちんと答えてあげなきゃなあと思っていたので、幼稚園では助産師さんがどのようにお話ししてくださるのかなど。それに、なかなか園での様子が見れない今、チャンスだ!という思いもあって、です。

赤ちゃんのお話の後の助産師さん、園長先生のお話は本当に重い...。小さな可愛らしい子供達がみんな笑って元気に育てて欲しいから、まずは我が家から。何度も何度もプライベートゾーンの大変さを話していきたいと思いました。

それに伴って親の行動も。成長していく上で芽生えてくる本人の気持ちは肯定して、親が気をつける。家庭で出来ることはたくさんあるので、誰もが性被害者に、加害者になる可能性がある今を生きる心を育てたいと思いました。